

『ずっと暮らしたいまちを考える 豊田市長との意見交換会』について

－豊田工業高等専門学校開催－

1 趣旨

豊田市内に立地する大学及び高等専門学校に通う学生と豊田市長の意見交換を通じて、若者目線の地域の魅力やまちづくりのアイデアなどの意見を聞き、次期総合計画の策定に活用していく。

2 実施概要

■開催日時

令和5年8月16日(水) 午前9時30分～11時

■参加者

豊田工業高等専門学校に通う学生7名（3～5年生）

■テーマ

- ① どんな働き方がしたい？—魅力的な就職・キャリア形成について—
- ② どんなライフプランが理想？—将来の暮らし・人生設計について—
- ③ どんなまちに住みたい？—理想の住環境について—
- ④ 「つながり」についてどう思う？—まちづくりでやりたいこと・やれること—

3 主な意見 ※括弧は、主な意見を内容ごとにまとめたものです。

(働き方)

- ・医療系エンジニアが夢だったが、海外留学で考えが柔軟になり、AI だけでは乗り越えられない言語の壁をなくす通訳士に憧れを持った。
- ・オンラインで仕事ができるといい。週2回くらい出社が理想。
- ・働いてお金を稼ぐことも大事だが、日常生活も大切にしたい。

(ライフプラン・住環境)

- ・都会に慣れており、田舎の人とのつながりが密なコミュニティで暮らせるか不安。
- ・まだ将来の生活や結婚に具体のイメージはないが、安定した収入がないと躊躇しそう。
- ・今の自分に子どもを育てる自信はないが、まずは働くことに集中したい。

(つながり)

- ・隣に住んでいる人が誰かわからないのは不安なので、安全面でもつながりは必要。
- ・お祭りやイベントや交流機会があると前向きにつながっていける。
- ・ボランティアなど、何かやりたいと思った時は、つながりの中で紹介し広がっていく。

4 まとめ

- ・学生世代の将来像は、右肩上がりの昭和世代とは違い、稼ぐ、偉くなりたい、という社会的地位を高める思想より、自己実現を主眼としている。

- ・働き方も多様性があり、生活において必要最低限のお金は稼ぐ必要はあるが、時間を仕事以外の活動（ボランティアなど自己肯定感が高まること）に使いたい傾向がある。
- ・そのため、今の学生世代は、人とのつながりに対する受容性は高いと感じる。
- ・結婚に関しては、漠然と明るい将来が展望できないことが、結婚願望や出産願望を下げていと受け取れた。

5 当日の様子

